

実り豊かな生活文化都市

# 中央市

## 議会だより

2006年9月1日発行

### 第2号

発行 山梨県中央市議会

発行人 議会議長 田中周治

編集 議会広報編集委員会

## 子どもが幸せな社会は みんなが幸せな社会



玉穂地内保育園

## 実り豊かな生活文化都市を目指して

|                 |         |
|-----------------|---------|
| ■ 6月定例議会で決まったこと | 2 ~ 5   |
| ■ 市長の施政方針       | 6       |
| ■ 一般質問に14議員     | 7 ~ 13  |
| ■ 委員会レポート       | 14 ~ 15 |
| ■ 市民の談話室・編集後記   | 16      |

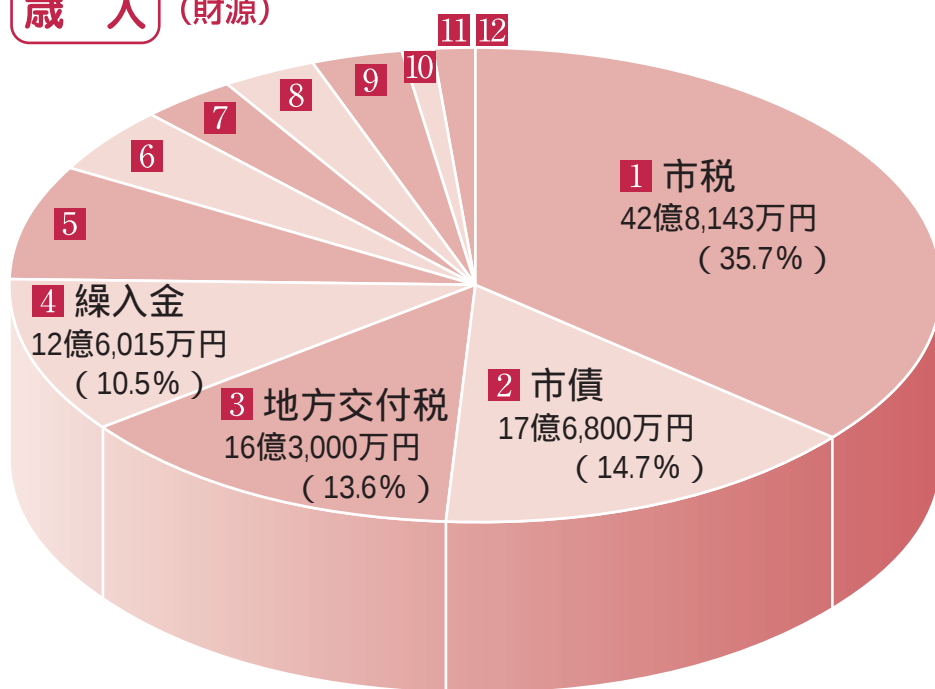
# 議会で たこと

## 18年度 一般会計 予算

# 120億930万円

# 可決

### 歳入 (財源)



|             |                   |
|-------------|-------------------|
| 5 国庫支出金     | 9億2,732万円( 7.7% ) |
| 6 県支出金      | 5億3,834万円( 4.5% ) |
| 7 分担金・負担金   | 3億9,259万円( 3.3% ) |
| 8 地方譲与税     | 3億8,650万円( 3.2% ) |
| 9 地方消費税交付金  | 3億7,410万円( 3.1% ) |
| 10 繰越金      | 1億5,000万円( 1.2% ) |
| 11 地方特例交付金  | 1億2,750万円( 1.1% ) |
| 12 その他      |                   |
| 使用料及び手数料    | 6,984万円           |
| 自動車取得税交付金   | 4,020万円           |
| 諸収入         | 2,442万円           |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 1,650万円           |
| 利子割交付金      | 1,160万円           |
| 交通安全対策特別交付金 | 665万円             |
| 配当割交付金      | 340万円             |
| 財産収入        | 42万円              |
| 寄附金         | 30万円              |

(1万円未満は切捨てしています)

平成十八年第二回中央市議会議定  
例会は、六月二十日(三十日まで  
の十一日間の日程で開催されまし  
た。

専決処分の承認二〇件、条例改  
正五件、平成十八年度一般会計予  
算ほか特別会計一件、規約改正  
加提案されました。

最終日には、人事案件一件が追  
加提案されました。

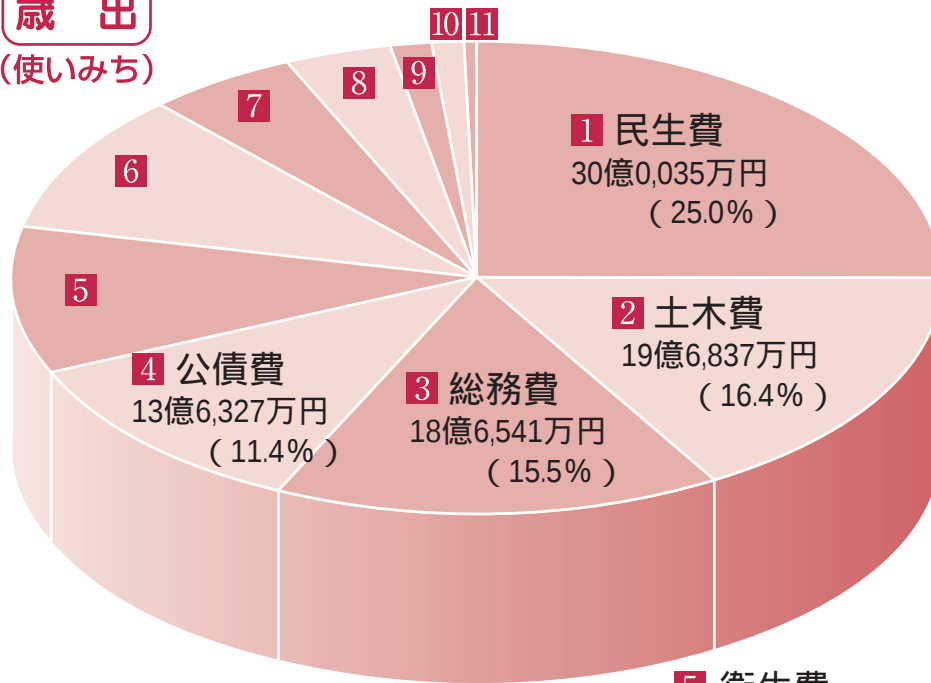
二件、市道認定一件、請願一件が  
提出され、専決処分・規約改正を  
除いて常任委員会に付託され審議  
されました。また、報告が六件あ  
りました。



建設中の神明団地市営住宅(豊富地内)

歳出  
(使いみち)

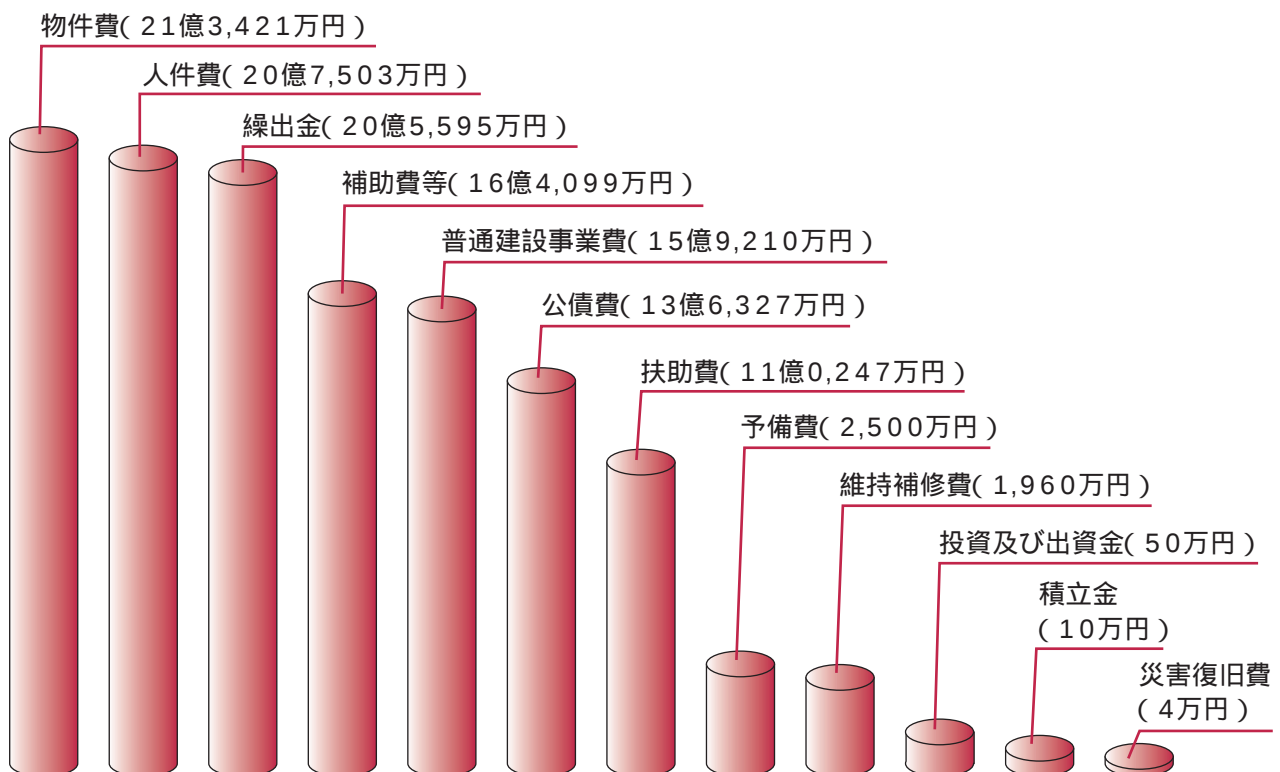
# 6月定例 決まっ



|          |                                                                         |
|----------|-------------------------------------------------------------------------|
| 5 衛生費    | 12億0,692万円 (10.1%)                                                      |
| 6 教育費    | 11億5,180万円 (9.6%)                                                       |
| 7 農林水産業費 | 6億2,796万円 (5.2%)                                                        |
| 8 消防費    | 4億4,389万円 (3.7%)                                                        |
| 9 議会費    | 1億7,183万円 (1.4%)                                                        |
| 10 商工費   | 1億3,403万円 (1.1%)                                                        |
| 11 その他   | <div> 労働費 5,026万円<br/> 予備費 2,500万円<br/> 諸支出金 12万円<br/> 災害復旧費 4万円 </div> |

(1万円未満は切捨しています)

## 平成18年度一般会計当初予算性質別分析表



# 条例改正5件を可決



お客さんと賑わう農産物直売所「た・から」

○中央市介護保険居宅介護支援に関する手数料条例の一部改正  
介護保険法の改正により、手数料条例の一部を改正するもの。  
○中央市ひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部改正  
入院時食事療養費について入院と通院の公平を図るため、条例の一部を改正するもの。

○中央市地下水採取の適正化に関する条例の一部改正  
甲府地方検察庁との協議により、条例の一部を改正するもの。  
○中央市小規模企業者小口資金融資促進条例の一部改正  
山梨県小規模企業者小口資金融資実施要領等の改正により、条例の一部を改正するもの。  
以上五件の条例改正について可決しました。

## 専決処分

・職員給与条例の一部改正  
・税条例の一部改正  
・農村地域工業等導入促進のための固定資産税の免除に関する条例の一部改正  
・国民健康保険税条例の一部改正  
・使用料徴収条例の一部改正  
・手数料条例の一部改正  
・介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正  
・ひとり親家庭医療費助成金支給条例の改正

・障害者施策推進協議会条例の制定  
・敬老祝金支給条例の制定  
・畑地かんがい用水施設条例の制定  
・農産物直売所の設置及び管理に関する条例の制定  
・平成十七年度一般会計暫定補正予算(第2号)  
・平成十七年度国民健康保険特別会計暫定補正予算(第1号)  
・平成十七年度老人保健特別会計暫定補正予算(第1号)  
・平成十七年度介護保険特別会計暫定補正予算(第1号)  
・平成十七年度簡易水道事業特別会計暫定補正予算(第2号)  
・平成十七年度下水道事業特別会計暫定補正予算(第2号)  
・平成十七年度農業集落排水事業特別会計暫定補正予算(第1号)  
・平成十七年度土地地区画整理事業特別会計暫定補正予算(第1号)  
以上二〇件について承認しました。

## 平成18年度特別会計予算

国保会計をはじめ特別会計9会計、上水道事業会計が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり賛成多数で可決しました。

| 会 計 名         | 金 額                                                                          |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 国民健康保険        | 22億6,118万円                                                                   |
| 老人保健          | 18億3,263万円                                                                   |
| 介護保険          | 12億2,141万円                                                                   |
| 介護保険サービス      | 62万円                                                                         |
| 簡易水道事業        | 8億2,726万円                                                                    |
| 下水道事業         | 18億3,465万円                                                                   |
| 農業集落排水事業      | 3億1,270万円                                                                    |
| 田富よし原処理センター事業 | 4,237万円                                                                      |
| 土地地区画整理事業     | 9億0,783万円                                                                    |
| 上水道事業         | (収益的収入) 3億5,120万円<br>(収益的支出) 3億2,352万円<br>(資本的収入) 3,000万円<br>(資本的支出) 8,669万円 |

(1万円未満は切捨てています)

## 規約改正

- ・青木が原ごみ処理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更の件
- 市町村合併により、組合の数の変更にともない、規約の変更をするもの。
- ・甲斐市・中央市・昭和町自立支援給付認定審査会の共同設置の件
- 自立支援給付認定審査会を共同で設置するもの。
- 以上二件について、可決しました。

## 市道認定

- ・中央市道路線認定の件
- 市道として、五路線の認定について提出され、可決しました。

## 請願

- ・議員辞職勧告決議に関する請願書
- 総務常任委員会において、賛成多数で継続審査とすることに決定しました。

## 報告

- ・平成十七年度一般会計暫定予算繰越明許費の

件

- 総額 三億四四万二千円が翌年度へ繰り越されました。
- ・平成十七年度下水道事業特別会計暫定予算繰越明許費の件
- 総額 一億七、五〇〇万円が翌年度へ繰り越されました。
- ・平成十七年度土地区画整理事業特別会計暫定予算繰越明許費の件
- 総額 八、八八二万九千円が翌年度へ繰り越されました。
- ・平成十七年度一般会計暫定予算事故繰越の件
- 総額 一、二〇九万三千円が翌年度へ繰り越されました。
- ・平成十七年度簡易水道事業特別会計暫定予算事故繰越の件
- 総額 五〇〇万円が翌年度へ繰り越されました。
- ・平成十七年度下水道事業特別会計暫定予算事故繰越の件
- 総額 一、六一三万円が翌年度へ繰り越されました。
- 以上六件の報告が市長からありました。

## 第二回臨時会（5月17日）

- ・市長職務執行者の給与及び旅費に関する条例の廃止
- ・収入役の事務の兼掌条例制定
- ・教育委員の任命に同意を求める件
- ・監査委員の選任に同意を求める件
- ・公平委員の選任に同意を求める件
- ・固定資産評価審査委員の選任に同意を求める件

いずれも原案通り可決、同意しました。

### 【教育委員会】

- |      |            |
|------|------------|
| 委員長  | 内藤 貴（大田和）  |
| 職務代理 | 乙黒いく子（成島）  |
| 委員   | 佐野順一郎（大鳥居） |
| 〃    | 鈴木 章安（下三条） |
| 教育長  | 比志 保（布施）   |

### 助役に長山勝典氏（選任に同意）



- ・中央市助役の選任について議会の同意を求める件
- （賛成多数で同意）
- 氏名 長山 勝典
- 住所 甲府市上阿原町

### 【監査委員】

- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| 委員        | 員（代表）           |
| 樋口 達哉（布施） |                 |
| 委員        | 員 長田 温雄（木原）     |
| 委員        | 員（議会） 田中 義広（今福） |

### 【公平委員会】

- |      |            |
|------|------------|
| 委員長  | 樋口 要（布施）   |
| 職務代理 | 田中 秀信（下三条） |
| 委員   | 員 小沢 究（浅利） |

### 【固定資産評価審査委員会】

- |     |              |
|-----|--------------|
| 委員長 | 市川 敏夫（東花輪）   |
| 委員  | 員 野沢 儀信（下三条） |
| 〃   | 村松猪虎馬（木原）    |

### ・選挙管理委員会及び補充員の選挙

### 【選挙管理委員会】

- |      |             |
|------|-------------|
| 委員長  | 田中 利夫（東花輪）  |
| 職務代理 | 松村 昭彦（極楽寺）  |
| 委員   | 員 樋口 敦男（布施） |
| 〃    | 岩間 正雄（関原）   |
| 補充員  | 原田 繁（若宮）    |
| 〃    | 塩島 武雄（今福新田） |
| 〃    | 小林 金造（山之神）  |
| 〃    | 有泉 義人（大鳥居）  |

## 6月 定例議会

# 一般質問

## 14議員が登壇

六月定例会では十四人の議員が一般質問に立ち、三六項目にわたって市の方針をただしました。この記事は質問・答弁を要約したものです。

透明性ある行政運営  
市民型政治の実現

## 「実り豊かな生活文化都市」を目指す

6月定例会

### 田中市長の施政方針

地方自治体は、「自己決定」「自己責任」に基づき行政運営を行う、分権型社会に移行している将来を展望し、特色ある地域づくり、諸課題への確な対応に努める必要があり、時代の変化を把握し、柔軟な発想と抜本的な見直しを行い、簡素で効率的な行政システムの構築と、持続可能な財政基盤の確立に努めます。

#### 1、市政運営に対する基本姿勢

財政は極めて厳しいが、安全安心なまちづくり、次世代を担う子どもたちの教育、少子高齢化への対応など、緊急課題も抱えている。公平、公正で迅速かつ適切な行政サービスの実践、透明性のある行政運営、市民型政治の実現、市民の声が届く市政の実行を基本姿勢とし、協働で「実り豊かな

生活文化都市」を目指し、市政運営にあたる。

#### 2、中央市のまちづくり

既存の素晴らしい施設を活用した地域づくり、特色をもった地域振興を図り、住みたくなる、住んでよかったと思われるまちづくり、安心で安全な災害に強いまちづくりを行う。

二〇〇六年「全都市住民よさランキング」では、

住みよさ全国三十三位、利便度全国二位という好結果をいただいた。

#### 3、行政改革の取り組み

しっかりとした財政計画と総合計画を策定し、健全財政の確立、行政サ



施政方針を述べる  
田中市長

ービスの低下を招かないよう、職員定数の適正化を図る。

公平で公正な入札執行を行い、入札制度改革検討委員会に、今後の入札制度のあり方等について、諮問していく。

#### 4、福祉医療

福祉需要に迅速に対応できる人材の確保、市民参加型の福祉活動の推進、みんなで支えあう地域福祉の実践、山梨大学医学部・地域医療機関の連携で、クオリティ・オブ・ヘルス（命がやく健康）を推進。

#### 5、産業振興

暮らしに優しい市を創造し、工（たくみ）の力

を再評価、ものづくりの大切さを伝える仕組み、企業の社会貢献度を評価する仕組みをつくる。

市内商工業者の育成を図り、雇用不安に対して安心して暮らせる市づくりを行う。

#### 6、教育の充実

子どもたちに「命を大切にすること」「人を思いやること」の教育を実施。

地域で子どもを見守り育てるなど、学校の安全対策についても積極的な対応を図る。生涯学習について内容の充実を図り、物から質への住民ニーズに応える。

## Q 高齢者の人間ドックに補助継続を



田中健夫 議員

ほか1件

田中議員 高齢者の医療費自己負担が増え、七十五歳以上の人間ドック補助も打ち切られた。日本経済を支えてきた世代の高齢者が、収入が少なければ医者にもかかれない

世界第二位の経済大国といわれている我が国でこんな格差が現実である。できる限りの支援の継続を願いたい。

### A 総合健診の利用を

田中市長 人間ドックの補助には年齢制限を設けたが、基本健診にはない

## Q 一般競争入札の導入で抜本改革を



河西健二 議員

ほか2件

河西議員 指名競争入札では、談合の完全な排除は不可能であり、自治法の規定通り一般競争入札とする抜本改革が必要だ。入札制度改革検討委員会の構成、権限と責任、市

### A 検討委員会の答申を待ちたい

市長 検討委員会は十人前後で構成する。入札制度のあり方については、検討委員会の答申を待ちたい。

## Q 合併前の諸問題を問う

問 田富地区の合併意向調査票偽造事件に対する市長の認識は。  
前玉穂町長への賠償金請求権放棄の件について裁判中だが、市長はどのように対応するのか。

### A 判決確定の債権は請求する

市長 調査票偽造事件の捜査は継続中であり、結果が市に報告されたら対応したい。  
現在東京高裁で係争中であり、結審した後に専

### A 監視体制の検討をしたい

市長 市立の各保育園では、門扉や玄関の施錠、火災通報装置を利用した警備会社への緊急連絡体制をとり、救急法の講習、危機管理の研修も実施し、小中学校では教職員による校内巡回、校舎の施錠、

監視カメラを取り付けて、不審者を近づけないようにしたい。命を守る温かいまちをつくるため、監視カメラの設置をしていただきたい。

## Q 合併特例債の活用計画公表を

問 合併特例債の活用プランを市民に公表し、説明してほしい。

### A 過重な負担を避けたい

市長 合併特例債は市の将来構想に基づき、市の一体性確保や、市民福祉の事業、地域振興基金造成にも有効に活用したい。市財政に過重な負担とならないよう、配慮して対応したい。

危機管理マニュアル作成等の体制をとっている。またスクールガードリーダーによる登下校の見守りパトロールや、防災無線の放送で地域の皆様に協力を呼びかけている。見守り隊は現在一七二人にご協力いただいており、広報でボランティアを募集し、帽子、腕章、名札等の購入予算を計上した。ご提案の防犯カメラ設置には、常時カメラの映像をチラクする体制が必要となるので、今後学校、保護者とも協議し検討したい。



こどもの安全・安心を！（田富第1保育園）

## Q 食育の環境整備を



### 設楽愛子 議員

ほか2件

設楽議員 食育推進基本計画がスタートしたが、本市の取り組みはどうか。

毎月十九日を「食育の日」と定めてはどうか。本市の栄養教諭の現状は。医療費の抑制は、今までの

治療型から予防医療に変えていかなければならない。予防医療の為、食育セミナーを開催する考えはどうか。

### A 基本計画策定に努力する

市長 基本計画は平成二十二年までに都道府県が

## Q 事業仕分けで行財政効率化を



### 野中つね子 議員

ほか3件

### A 合併後の調整が済んだ時点で

野中議員 市民サービスを下下させず、大胆な歳出削減を行い、財源をより必要となる所に振り分ける為、事業仕分けの断行を求めるが、市長の所見は。

市長 市の業務の現状は、合併協議で合併後に調整するとして、先送りされた事業のすり合わせの段階であり、これが終わってから事業の仕分けも検討したい。

一〇〇％、市町村が五〇％以上の策定を目指しているが、現在ほとんどが未策定である。基本計画策定に努力したい。

比志教育長 六月を食育月間、十九日を食育の日と定め、栄養職員を中心に広報等で普及・啓発を指導している。健全な食生活や運動など、保健指導に努め、セミナー等の開催も検討する。

### Q 少子化対策と子育て支援課の創設を

問 少子化対策を、総合

### Q AEDの早期増設を

問 AED（自動体外式除細動器）の早期導入と市民への啓発を要望したい。

### A AEDを小中学校へ設置

市長 今定例会に予算を計上し、田富庁舎及び管内の小中学校に設置する。プール開きを迎えて、中学校では業者にAEDを借りて、使い方の説明を受けている。今後は、市

的に支援し取り組む課の新設が必要では。放課後児童クラブの対象児童は現行三年生までだが、六年生まで預かれるようにできないか。不妊治療費への助成と、病後児の保育料の補助等について、市長の考えは。

### A 組織は全体的に見直す

市長 現在の市の機構は、合併当初の暫定的な機構であり、全体的に見直す中を考える。放課後児童クラブは今後運営の統一

### Q マタニティーマークの活用を

問 普及啓発と活用により市民への啓発を願いたい。

市長 市民に周知し、妊婦に優しい環境づくりを推進したい。

### Q CAPプログラムを導入を

問 市の図書館事業の現状と展望は。子ども読書活動推進計画策定委員会の予定と人選は。

化を図るが、対象児童の枠拡大は難しい。不妊治療費助成はできるだけ早く導入したい。病後児の保育料軽減は実情を調査し検討したい。

### Q 健康づくりの環境整備を

問 包括支援センターの設置目標を十九年としているが進行状況は。新介護予防サービスのケアプラン作成をどう支援するか。介護健診を実施し、筋力トレーニングルームの設置をしてはどうか。

### A 田富健康管理センターの活用を

市長 十九年四月の包括支援センター設置に向け検討している。要支援1、2の人のケアプラン作成支援は、包括支援センターを設置していない本市は対象とならない。筋力トレーニングルームは田富健康管理センターの、二階のトレーニングルームを活用していただきた

十五人程度での構成を予定している。

CAP教育プログラムは、全校実施を目指して検討したい。

警察車両に似せた車一台を導入する予定。

不審者情報は警察から学校へ、またこちらからも、警察へフアックスで通知している。

公園の剪定など、安全対策の予算を計上しており、早急に実施したい。

### A CAPプログラムを全校で実施を目指す

市長 市立図書館は現在二十万冊の蔵書で、活気ある活動をしている。読書推進委員会は、子どもの読書活動にかかわる

# 市立図書館の駐車場 拡充を

ほか1件



乙黒房子議員

化施設として、早急な整備が必要だ。市の取組みと見通しは。

## A 改善を検討したい

乙黒議員 市立田富図書館は市役所に隣接して立地条件も良く、利用価値も高いが、駐車場が狭く、市役所との間の道路は、信号機もなく危険である。人口が増加する地域の文

# 入札結果の公表を



中澤一夫議員

中澤議員 市民は公共事業の入札方法に、強い関心を持っている。指名競争入札では、選挙の勝ち組、負け組に色分けされ、指名が偏るので、一般競争入札が望ましい。報道

## A 入札結果は公表する

によれば市長は一般競争入札は検討課題で、予定価格を事前公表して指名競争入札の実施予定だというが、どんな入札方法であっても、入札結果の公表が重要である。公表をどのような方法、形態で行うのか。旧玉穂町では、広報とホームページ

で、事業名、予定価格、落札価格、落札率、落札業者名を公表していたが、そのような方法が取れるのか。

市長 旧玉穂町、田富町では、入札結果をホームページで公表していた。中央市としても、入札結果の公表は実施する。公表内容は従来の項目を再検討し、公平、公正、透明性を主に実施していきたい。旧豊富村では、広

駐車場の整備を！  
市立田富図書館



## Q 全県一区高校入試の対策は

問 本年度から全県一区制の高校入試が実施され、高校側は特色ある学校案内づくりを急いでいるが、中学校では、受験生や父母に不安もある。市教委として、市内の中学校の入試対策を、県とタイア

## A きめ細かな情報提供と進路指導

教育長 市教委では生徒が能力、適性に合った高校選択ができるよう各学校を通して指導している。学校ではきめ細かな進路指導、情報の提供、学力の向上に取り組んでおり、各高校のホームページの情報をもっと積極的に配布したい。県も説明会を二度開いたが、七月二十日には押原・

ツブして進めていると思うが、現時点での方針を伺いたい。

報紙で年二回、二五〇万円以上の工事、旧田富町玉穂町は広報とホームページで年一、二回、基本的に一三〇万円以上の入札結果を公表していた。中央市も同じような形で公表を考えている。

問 前年度の落札の多い業者の上位二〇社くらいを、業者名、落札回数と落札金額などを、市のホームページと広報で、五月に公表してはどうか。法的には落札業者だけでなく、入札業者名も公表しなくてはならないので、

これもホームページで公表してはどうか。  
市長 今年度実施分を、来年五月に公表することは可能だと思うが、検討



ホームページで入札結果を公表

玉穂・田富の三中学校で相談し、昭和町の総合会館で、県の担当者を招き説明会を開催する。今回の改革の要点は学区を廃止して、前期・後期入試で受験生の自己推薦による高校の自由選択と、受験機会の複数化の二点だが、倍率が相当高くなる。部活動など、自分の個性を磨くことも求められ、高校がどういう生徒を求めているかの情報も収集して、きめ細かく対応していきたい。

したい。入札参加者、落札金額、入札金額等の公表は、窓口閲覧という形で公表していきたい。

## 入札制度の改革に 市長の決意は



一瀬 明 議員

ほか1件

一瀬議員 合併前に起きた談合事件は、市民に不信感を与え、入札制度の改革が求められている。旧町村では、首長選挙の度に繰り返されてきた「勝ち組、負け組」の対立を

### 検討委員会に 諮問する

市長 入札制度改革検討委員会を立ち上げて諮問

なくすには、公正な一般競争入札の導入が不可欠である。この改革には市長の決断が必要だが、市長の考えは。

### 福祉・医療への 取り組みは

問 中央市は「住みよさ

し、検討していただく考えである。

問 検討委員会に諮るといふが、決定権は委員会か市長か、またいつまでに実施するのか。

市長 検討委員会から諮問に対する答申をいただき、決定権は市長にあると考えている。実施時期は、諮問に対する答申をいただいた上で決定する。

全国三十三位”だといふが、住みよさを実感できるには福祉・医療の充実が必要だ。住民参加型の福祉、弱者をどう支え、予防重視の地域ケアシステム、福祉ネットワークづくりをどう進めるのか。山梨大医学部や医療機関と連携した「クオリティ・オブ・ヘルス」の具体的方針は。国が進めている「健康日本21市町村計画」の本市の計画策定はどうか。

### 平成二十年を 保健計画を策定

市長 「クオリティ・オブ・ヘルス」は医療・福祉の総合的計画であり、今後各種計画をつくる中で、事業としての位置付けをしていきたい。山梨大と旧玉穂町が結んだ、包括的連携の協定は中央市が受け継ぎ、改めて大学と協定を結ぶことになっている。合併前に町村で策定した保健計画を基に平成二十年を初年度とする。



旧玉穂町と山梨大の協定調印式

る市の保健計画を策定し、「健康日本21市町村計画」と合致するようにしていきたい。

## 住宅用火災警報器の 設置に補助を



小池 満男 議員

ほか2件

小池議員 消防法、火災予防条例の改正により、住宅に火災警報器の設置義務が課された。警報器は比較的安価で購入もしやすいが、罰則規定のないこと、周知の不徹底、

### 財政的に厳しい が検討

市長 住宅用火災警報器

詐欺商法被害などが問題である。市として周知徹底のあり方は。また普及村に先駆けて、補助制度を検討してはどうか。

### 防災無線のデジ タル化切り替えは

問 旧豊富村は、防災無線がデジタルに切り替え済みだが、田富、玉穂地区は在来型のままであり、難聴区域も多い。地域格差が生じないよう、早急にデジタルへの切り替え

### デジタル化は 計画的に進める

市長 短期間の切り替えは財政的に困難だが、計画的に進めたい。スピーカーの位置も市内全域を確認し、新設を含め検討する。

### 職員の定数に ついて問う

問 職員定数削減計画の策定は。期間採用職員の処遇改善、旧町村間の給与格差是正を今年度中に。専門職員および単労職員の採用計画は。生活弱者へのサービス充実を。

### 職員削減計画 を策定

市長 市職員は定数二六四に対し現在二六一人である。市民サービス低

下も懸念されるが、削減計画は策定していかなくてはならない。期間採用職員の勤務時間等の統一は図った。賃金に多少差があるが、十九年四月から統一したい。職員定数の削減計画のこともあるが、専門職の採用も今後検討する。市民と協働して、みんなで支え合う地域福祉の充実を図りたい。

## Q 中央市体育協会の設立は

ほか2件



五味 淳治 議員

### A 七月に設立総会開催

五味議員 中央市体育協会の設立総会が開かれていない。特に、体育関係の事務当局の強化が必要と思う。進捗状況について、市長の見解は。

市長 合併に合わせて、旧町村の体育協会は解散し、新たに各部門、各専門部の統一を図り、連盟協会を立ち上げた。体協組織を構成する役職員の選出もされ、規約・事業

## Q 中央市にかかわる防災対策は

ほか3件



石川 直 議員

石川議員 中央市も、東海沖を震源とする巨大地震により、災害が予想される。

マップ作成の計画は。避難場所・施設の見直しと耐震強度は。公共施設の耐震化は。中央市防災会議設置と地域防災計画策定を急ぐべきだが。

詳細な震度予想、倒壊家屋予想、洪水予想等想定される災害のハザード

計画・予算等を検討中で七月二十日には設立総会が開催される。体育指導員二十九名、地区体育員五十九名が選出され、今後の体育事業の運営等が協議される。

### Q 公民館活動助成について

問 旧豊富地域には、十四の公民館分館があつて分館長があり、その下に主事がいる。平成十八年度までは中央市として、活動費を助成することになっていて、十九年度

以降の助成についての考えは。

### A 統一的な助成制度を検討

市長 旧豊富地区の公民館活動費助成については、市としての公民館活動の推進を図る中、統一的な考えが必要で、助成制度は改めて検討していく。

問 市文化協会が六月一日に設立された。文化協会には二十五の専門部が

### Q 地域に根ざした文化協会活動を

あるが、地域に根差した文化協会であってほしいと願う。市長の見解は。

市長 市の文化協会は二十五専門部、六十支部で組織され、会員数約一千人の大規模な協会として設立された。今後予定される文化祭・芸能発表会等において、一層のコミュニケーションを深め、活動されることを期待している。

### A コミュニケーションを深める



体育協会設立総会

### Q 道の駅「とよとみ」周辺の開発は

玉穂中学への通学早期実現見通しについて伺う。

市長 子ども・保護者のコンセンサスや、通学の為の環境整備が必要。検討委員会を立ち上げ、準備をする。

### Q 浅利地区に児童館建設を

問 浅利地区に児童館の設置を。

市長 地域のニーズの把握や、現有施設の改良・改修等も視野に入れ、総

### A 防災計画は早急に作成する



火災に備えて(甲府地区消防団総合訓練大会)

市長 旧町村の防災対策を基本に、地域の状況を

### Q 豊富地区内中学生の玉穂中学への通学見通しは

問 豊富地区内中学生の、

## Q 玉穂地域医大南部区画 整理事業の進捗状況は

ほか3件



中沢勝子 議員

中沢議員 医大南部土地  
区画整理事業は、玉穂町  
時代より、百年の大計と  
銘打った事業だが、現在  
は頓挫状態で地権者の不  
安は大きい。どのような  
対処を行うのか。

大型店出店についての  
対策を。

保留地販売は順調か、  
実態を。

予定費用が大幅増だ、  
事業継続に問題は。

地権者との合意がされ  
ていない土地については

## A 早期完成に向け 推進する

市長 山梨大学医学部  
東側のスーパー街区、八・  
二ヘクタールの企業誘致  
については、地権者と企  
業の話し合いの場を設け、  
意見を聞いた。今後もう  
一度全体説明会を開催し、  
市において意向調査を行  
い、地権者等の意思を確  
認する。

ホームページや新聞へ  
の掲載、現地見学会など  
の広報活動を実施。保留  
地は四十六区画中二十三

区画を処分。今後もPR  
を積極的に行う。

事業遅れによる事業費  
への影響がないよう、諸  
問題を解決し、早期完成  
に向け、推進を図る。

地権者の方々の意見に  
耳を傾け、対話の中で粘  
り強く合意形成を図り、  
問題解決をしたい。

## Q 保育園での投薬 行為について

問 保育園での園児への  
投薬は、医療行為に当た  
るとして、保育士には行  
えないが、対策は。

## A 組織体制の 整備が必要

市長 投薬可能な薬の選  
定や、投薬に関する組織  
体制整備などの措置が必  
要だ。今後検討する。

## Q 公民館の使用料 を公平に

問 公共施設（公民館）  
の使用料が、地域によつ  
て不公平で疑問が出てい  
る。今後どうするのか。  
市長 利用者の公平性を  
考え、今後検討していく  
財政面も踏まえ、当面、

## Q 市長の私的諮問 機関の設置は

問 市長の政策提言等の  
ため、私的諮問機関の設  
置を検討したらいいかが  
か市長 現在いろいろな審  
議会、委員会が行政にあ  
るので、それらとの整合  
性も考え、現時点では私  
的諮問機関の設置は考え  
ていない。

## Q 豊富地区浅利地内 地域整備計画は

ほか2件



大沼芳樹 議員

伺う。

## A 慎重に事業選択 していく

大沼議員 「道の駅とよ  
とみ」北側四・一ヘクタ  
ール、西側国道沿線〇・  
六ヘクタールの農地につ  
いては、地域整備構想が  
進められてきた。浅利地  
区の地域整備計画について

市長 旧豊富村では「道  
の駅とよとみ」周辺の整  
備計画について、山梨総  
研に地域整備計画策定調  
査を依頼し、「まちづく  
り交付金」制度の適用で

きる事業内容の計画策定  
に努めてきた。合併直後  
で多くの継続事業に取り  
組んでおり、今後は地域  
の意見等をお聞きする中  
で、慎重に事業選択して  
いきたい。

## Q 児童センター等 建設計画撤回の 根拠は

問 神明団地地域住宅交  
付金事業（市営住宅整備  
事業）の提案事業であつ  
た、「児童センター・コ  
ミュニティーセンター建  
設計画」は、合併前に国

## A 建設計画は凍結

市長 公営住宅建設第二  
期工事は、市として施工  
することになったが、児  
童センター・コミュニテ  
ィーセンター建設を凍結  
し、これにかかる用地買  
収費を公営住宅建設用地  
費に変更したため、建設  
計画撤回に至った。

## Q 作興橋から万年橋 までの改良計画は

問 国道140号線から  
作興橋までの県道が、浅  
利地内を通過している。  
新市道路基本計画に盛り  
込まれている新道路計画  
新豊積橋建設計画と、旧  
玉穂町万年橋改良計画の  
進捗状況について伺う。

## A 万年橋は21年度 供用開始

市長 浅利地内の県道の  
拡幅は困難で、それに  
かかる国道140号線まで

の新設道路は、新市の建  
設計画にもあり、財政面  
も検討し、早期事業実施  
を目指す。新豊積橋建設  
計画は、当面、実現は困  
難な状況。万年橋改良計  
画は、平成二十一年度の  
供用開始に向け、工事施  
工しているとの、県の回  
答を得ている。

## 入札、契約手続制度は



井口 貢 議員

井口議員 地方経済の長期的な低迷、国の行財政改革の余波で、地方自治体は財政難にあえいでいる。こうした中、国・地方自治体の公共工事をめぐる不祥事が相次ぎ、入

札契約に対する住民の信頼が大きく揺らいでいる。住民の信頼回復のため、貴重な財源の損出につながる談合を放置することは許されず、重要課題として取り組むべきだ。

札契約に対する住民の信頼が大きく揺らいでいる。住民の信頼回復のため、貴重な財源の損出につながる談合を放置することは許されず、重要課題として取り組むべきだ。

### 入札制度改革検討委員会等を設置

市長 市の入札制度については、制度改革の一つとして、入札制度改革検討委員会を設置してい

く。委員は一〇名前後で、市長の諮問に応じ、入札制度に関する事項につき検討、審議を行う。また、入札参加選考委員会の設置を要綱で設けて、入札にかかわる参加者の資格および選考をしていく。委員数は各部長以下総数で一四名前後、また公平入札調査委員会の設置も行い、規定の中で位置づけ、入札談合等の対応を行っていく。

第一に地理条件、第二に経営事項審査に基づく条件、第三として不誠実な行為の有無の確認、第四として工事価格基準の導入を設定し、対応していくことになっている。



生活環境の改善  
下水道工事(玉穂地内)

## 施策の具体性を示せ



長沼辰幸 議員

効果を挙げていただきました。

長沼議員 先に行われた市長と市民との直接対話において、市民の声・要望を聞いて考えるだけでなく、市長の考えや思い、施策を発信することが必要だ。継続実施されて、

公平・公正で迅速かつ適切な行政サービスの実践と、透明性のある行政運営、市民が理解できる手法について、市長の考えを伺う。

### しっかりと行政運営を行う

市長 市民から寄せられた言葉として、偏った行政運営でなく、全ての地域、市民に対し、公正・公平な行政運営を、との

どんな取り組みなのか。具体的施策の中で、共鳴することが肝要だが、市長の考えは。

お話を数多くいただいた。市民参加型の行政運営を行うことにより、今まで以上に、透明性のある行政運営を行うことができると考える。また、市民との対話についても、可能な限り実施していきたい。

位と最優先課題の具体性については、行政運営はなにかをしているから、これはしなくても良いとか、後回しでよいというものでない。総合計画を策定し、その中からそれを優先的に事業実施していくか、今後実施計画を作った段階で判断し、しっかりと行政運営をしていきたい。



住民の声を聞く  
市長と市民の対話室

# 市の総合計画は19年度中に

## 総務

常任委員会

(6月21日・22日)

付託された一般会計予算を審査し、全員一致で原案通り可決した。

**問** 市の総合計画策定はどう進めるのか。

**答** 本年度検討委員会を立ち上げ、十九年度中には計画を完成させる予定。

**問** 市章の選定事業は

**答** 選定委員会を設けて一般公募を行い、その中から選定する予定。

**問** 飲料水兼用の耐震性貯水槽とは。

**答** 上水道の管の途中に耐震性の貯水槽を設け、

地震等の際にはすぐに飲用水として利用できるもの。今年、玉穂南小の校庭と豊富地区に設置する。今後順次増やしていく。

**問** 防災計画でハザードマップの作成は。

**答** 地域性を考え、審議会で検討する。

**問** 防災総合訓練はどのように実施するのか。

**答** 玉穂ふるさとふれあい広場で、全団員を対象に実施を計画している。

**問** 合併特例債は当初予算でしか計上できないのか。

**答** 原則的には当初予算だが、例外的には補正予算でも可能。

## 笛南中学校は組合立を解消の方向で

## 教育

常任委員会

(6月23日)

付託された一般会計予算の教育費を審査し、全員一致で原案どおり可決

**問** 市税の滞納額は。

**答** 全体で四億一、五六〇万円。うち個人住民税一億三、〇五七万円、法人税六六七万円、固定資産税二億六、九九〇万円、軽自動車税八四六万円。

**問** 滞納整理員の仕事は。

**答** 財政課に所属し、すべての滞納を集中して徴収する職員で、担当一人臨時職員四人で対応している。

## 請願

議員辞職勧告決議を求める請願

・提出者 片桐 要

・紹介議員 中沢 勝子議員

賛成多数で継続審査と決定

した。

**問** 玉穂には学校給食費の滞納があり、田富、豊富にはないが。

**答** 田富、豊富では学校給食費は公金扱いでなかったため。

**問** 組合立の笛南中学校

は、将来的には解消し、市立中への編入が望ましいが。

**答** 検討委員会をつくり、市民の意見を聞きながらその方向に進みたい。

**問** 市内の学校には外国籍の子供が多いと聞くが、どう対応しているか。

**答** 現在外国籍の児童・生徒は一二四人である。田富小、田富南小には外国籍児童のための人的配置をして対応している。

**問** 扶助費の対象児童・生徒数は。

**答** 二、九六〇人中、対象児童・生徒数は一七〇人。

**問** 学校給食へのセンター方式導入は。改善を要する学校施設は。

**答** 学校給食は自校方式が望ましいが、費用対効果の面もあり、検討が必要だ。豊富小の体育館は耐震性でないが改修より建て替えが望ましい。玉穂中は築後二〇年のため改修を予定している。

**問** 学校給食の残飯を豊富クリーンセンターで処理できないか。

**答** 豊富クリーンセンターでの活用を検討したい。

**問** 豊富郷土資料館の指定管理者制度導入は。

**答** 郷土資料館には重要な資料が多く、慎重に検討したい。

**問** 学校図書館と市立図書館の連携は。

**答** 学校図書館と市立図書館はオンライン化しており図書の検索もできる。人的交流もして連携を図っている。

指導者による外国籍児童への語学指導(田富南小)



## 水道料金の統一は

## 産業

常任委員会

(6月21日・22日)

付託された一般会計予算、特別会計予算六件、条例一件、道路認定一件を審査し、全員一致で原案どおり可決した。

**問** 道の駅をからめた観光行政は。

**答** 農政観光部とシルクの里振興公社と連携し、道の駅など既存の施設を活用して体験ツアーや農業体験等を行い、観光行政を進める。

**問** 豊富の中山間事業の終了年度と概要は。

**答** 平成二十年度まで。農道、圃場整備、鳥獣防

止柵、多目的公園、防火水槽、活性化施設など十一事業である。

**問** 市内の水道料金統一は。

**答** 玉穂は甲府市水道局豊富は簡易水道、田富は上水道の差があり、統一

は。

**問** 市内の水道料金統一

**答** 玉穂は甲府市水道局豊富は簡易水道、田富は上水道の差があり、統一

は。

# 常任委員会

**問** 原則的には使用しない。

**答** 玉穂ふるさとふれあい広場は、表層、上層のみの改修で水はけは良くなるのか。

**問** 専門家の調査で大丈夫のようだ。今回は一部の改修で、それを確認してから他も行う予定である。

**問** 医大南部土地画整理事業保留地の販売促進対策は。

**答** 広報、パンフレット、新聞への掲載、イベント時の宣伝など行っている。

## 国保税の滞納は？

## 厚生

常任委員会  
(6月23日)

付託された一般会計予算、特別会計予算四件、条例四件を審査し、全員一致で原案どおり可決した。

**問** 野良犬等の捕獲に毒は使うのか。

## 産業土木常任委員会

### 現地視察報告

六月二十七日(火)  
午後一時から、産業建設部・農政観光部に關する主な事業の現地視察を担当課長、職員とともに実施しました。

参加者 産業土木常任委員十一人 他士二人(希望議員) 視察箇所は次のとおり。

田富・玉穂・大津線(玉穂新環状線南通り線) 延伸事業

(JR東花輪駅北踏切付近) 医大南部土地画整理事業 地方道路整備臨時交付金事業

(玉穂新環状線南通り線) 豊富神明団地市営住宅建設事業

(第一期・第二期建設地)



## 議事を傍聴してみませんか？

中央市議会では、市民の皆様には議会の様子を知っていただくために、定例会の傍聴をお勧めします。

ご希望の方は田富庁舎2階の議会事務局で氏名、住所を記入すればどなたでも傍聴ができます。お気軽にお申し出ください。

次の定例会は9月中旬を予定しております。

電話 二七四一八五一六

## ●議会の動き●

### 5月

13日 議会運営委員会  
20日 第2回定例会本会

10日 議会運営委員会  
12日 消防団田富分団赤バイ入魂式  
17日 第二回臨時会  
18日 中巨摩東部シルバ人材センター通

常総代会  
19日 定期総会  
20日 南甲府警察官友の会定期総会  
21日 田富地区身体障害者福祉会総会  
23日 中央市消防団発団式  
24日 中央市農産物直売所

(た・から)竣工式  
25日 全国市議会議長会定期総会  
26日 流通センター通常総会  
27日 田富玉穂商工会通

常総代会  
28日 常総代会  
29日 常総代会

常総代会  
30日 常総代会

常総代会  
31日 常総代会

常総代会  
1日 常総代会

常総代会  
2日 常総代会

常総代会  
3日 常総代会

常総代会  
4日 常総代会

常総代会  
5日 常総代会

常総代会  
6日 常総代会

# 市民の談話室



## 中央市に望むこと

今福新田 塩島 武雄



三町村が合併し、中央市となり早や五月、今、ここで合併のメリットと問われて

も実感が湧きません。それは永年の田富町民としての固定観念が抜けきれないのかもしれませんが、普段の用件は田富庁舎で済ますことが多く、他庁舎にも数回ほど行き用件を済ませてきましたが、親切に対応していただき、ありがとうございました。

山梨の中央に位置し、産業・経済・文化の中心的地域で、実り豊かな生活文化都市に発展できると思っています。厳しい財政状況の中、多くを望むことはできませんが、全体的に見ますと市街化純農村、山間地域と分かれていますので調和のとれた行政をお願いいたします。

また、釜無川、笛吹川に挟まれた地盤は軟らかく、液状化現象が起りやすい地域です。防災マップの作成、避難場所の設置および住民への周知方法等を急いで作成してもらいたいと思います。

また、犯罪のない、安心して暮らせる明るい社会づくりに私たちも取り組みますので一層の支援をお願いいたします。

## 中央市に託する願い

浅利 笠原正五郎



例年になく長かった梅雨もようやく明けましたが、豪雨の続いた地方では大被害のほか、犠牲者も多く出たことが報じられ、私はあらためて自然の猛威を痛感した次第です。当市においても、避難計画や救援対策など「天災への備え」に、さらに万全を期すことを願っています。

さて、三町村が合併して中央市が誕生して以来、約半年が経過し、当初の寄り合い世帯から、総合的・一体的態勢への移行が着々と進められていることと思います。その場合、各町村が独自に培ってきた文化や伝統について、それらを十分尊重しながら、組織や制度を一本化する上での、取捨選択を慎重に検討くださるよう願っています。そして、封建主義や強権主義によるものを廃し、民主主義に基づく健全な社会の建設に向けて、わが中央市の発展の姿を描いていきたいと念じています。

## 編集後記

今年は梅雨が長びき、日本列島各地に大雨が降り注ぎ、中央市の田畑も様子が心配されました。議会だより第二号では六月定例会の様子を掲載いたしました。

二町一村の町村合併を果たした中央市では、前自治体の入札にかかわる問題に関して一応の決着がつき始めている段階です。中央市ではこういった不正が今後ないよう、開かれた入札制度を取り入れていくことなどが本議会では方針として出されました。

また、中央市を安全で、より住みやすい地域となるよう、市長の施政方針にもあったように福祉医療、防災対策、公共機関の改善や地域整備など、市民の皆様の声に応えられるよう、議会運営に努力してまいりたいと思います。

市民の皆様には、これからの中央市の活動を見守っていただき、行政運営に市民の皆様の意見を多く取り入れていき、よりよい中央市を作っていきたいと思えます。中央市の議会、またこの議会だよりにご意見をお寄せください。



昭和バイパス沿いでふようの花が満開  
(山之神地内)

(副委員長 山土井 記)

議会だより編集委員会  
委員長 野中つね子  
副委員長 山土井輝雄  
委員 中澤 一夫  
石原 芳次  
小沢 治  
一瀬 明  
小池 満男  
石川 直  
河西 定男